

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
社会 Social Studies		児童教育学科 初等教育学専攻	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	選択	隅野 努	
概要				
<p>社会科全般についての基礎的な知識を身につけるとともに、社会的な見方や考え方ができるようになり、よりよき市民・国民としての自覚をもつことができるようになる。</p> <p>併せて、社会科教師として使命感・責任感をもって教壇に立つ心構えを醸成する。</p>				
到達目標				
<p>(1) 小学校社会科の目標を構造的にとらえ、「社会生活」「国土」「歴史」等について具体的な資料を活用しながら、その内容をわかりやすく説明できる。</p> <p>(2) 社会的事象の意味について、多面的・多角的に考察することができる。</p> <p>(3) 社会的事象に関心をもち、積極的に調査し、資料を整え、説得力ある発表ができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p>1 前期の学習計画</p> <p>① オリエンテーション</p> <p>2 社会科で求められる学力</p> <p>② 採用試験問題の分析</p> <p>③ 高校入試問題の分析</p> <p>④ 社会科の目標と構造</p> <p>3 地理的な見方・考え方の基礎</p> <p>⑤ 地図と地球儀</p> <p>⑥ 地形図と地図記号</p> <p>⑦ 地域社会の調査①</p> <p>⑧ 地域社会の調査②</p> <p>⑨ 日本の都道府県</p> <p>4 歴史的な見方・考え方の基礎</p> <p>⑩ 時代区分と時代の特色</p> <p>⑪ 歴史的思考力の育成</p> <p>⑫ 年表や歴史資料の活用</p> <p>⑬ 人物学習①</p> <p>⑭ 人物学習②</p> <p>5 前期の学習の振り返り</p> <p>⑮ 学習評価と授業評価</p>		<p>1 後期の学習計画</p> <p>① オリエンテーション</p> <p>2 第3・4学年の社会科</p> <p>② 目標と内容、内容の取り扱い</p> <p>③ 地域の先人のはたらき①</p> <p>④ 地域の先人のはたらき②</p> <p>3 第5学年の社会科</p> <p>⑤ 目標と内容、内容の取り扱い</p> <p>⑥ わたしたちの国土</p> <p>⑦ 我が国の自然と人々の生活</p> <p>⑧ 日本の第1次産業</p> <p>⑨ 日本の第2・3次産業</p> <p>4 第6学年の社会科</p> <p>⑩ 目標と内容、内容の取り扱い</p> <p>⑪ 日本の歴史①</p> <p>⑫ 日本の歴史②</p> <p>⑬ 日本の歴史③</p> <p>⑭ 日本の政治制度</p> <p>5 1年間の学習の振り返り</p> <p>⑮ 学習評価と授業評価</p>		
テキストおよび 参考文献	<p>テキスト：「社会」山口短期大学</p> <p>参考文献：文部科学省「小学校学習指導要領解説 社会編」東洋館出版社 小学校社会科用教科書「あたらしい社会（3～6年）」東京書籍</p>			
メッセージ な	<p>社会科好きの子どもを一人でも多く育てるために、一人でも多くの社会科好きの先生を育てたい。社会科のおもしろさの神髄にふれましょう。</p> <p>小学校教諭二種免許の選択必修科目ですが、是非受講を勧めます。</p>			

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 小学校社会科の目標を構造的にとらえ、「社会生活」「国土」「歴史」等について具体的な資料活用しながら、その内容をわかりやすく説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	授業への取り組み (関心・意欲・態度、知識・理解)	50%
(2) 社会的事象の意味について、多面的・多角的に考察することができる。	様々な角度から考察できる。	いくつかの角度から考察できる。	1つ以上考察できる。	考察できない。	定期試験 (知識・理解、思考力・判断力・表現力)	40%
(3) 社会的事象に関心をもち、積極的に調査し、資料を整え、説得力ある発表ができる。	ほぼ完璧に発表できる。	大きな間違いがなく、基本を踏まえて発表できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を発表できる。	発表できない。	課題・レポート (思考力・判断力・表現力)	10%